



【11月以降の活動予定他】

日本語教室バス研修ツアー：11月29日(日)開催。詳細は同封のパンフレットをご覧ください。

“ひと、まち、しごとを学ぶ”：12月10日(土)13:00～ 鴨島第一中学にて開催 講師：新居 博さん

◆鴨島小学校での国際理解授業 羽山知恵子

コロナ禍のためしばらく中止になっていた国際理解授業が鴨島小学校で10月9日(金)再開されました。ワクワクしながら参加しました。今回の対象は4年生3クラス約80名!全員マスク着用は言うまでもなく、三密を避けるために、クラス毎に図書室に集合しました。ひとクラス約27名の4年生を対象に、以下のお二人の講師がそれぞれ約20分の担当で、生き生きとした活気に溢れた授業でした。

- オマール・カマチョ・ゴンザレスさん(メキシコ市出身:日本人女性と結婚し、英会話とスペイン語教師、徳島市在住、来日後一年半程)
- 劉青(りゅうせい)さん(中国上海出身:約30年前、日本に留学経験があり、日本語が堪能)

ゴンザレスさんは世界地図を見せて、メキシコの位置はどこでしょう?と質問したり、カラフルで賑やかな街並み、広大な山や川、カンクンの美しいリゾートビーチ、またタコスやテキーラ



等代表的な食べ物や飲物を紹介したりして、興味深い説明でした。何よりも楽しそうだったのは、ゴンザレスさんがオラ!(こんにちは!)、ムチョグスト!(はじめまして)、ジョメジャモオマール!(私はオマールです)とスペイン語で話しかけると、次々と児童たちがスペイン語で応答!またメキシコを代表するサルサ踊りの紹介があり、担任の先生や児童

たちとペアーでダンスタイム♪みんなで楽しく国際交流の輪が広がりました。

たちとペアーでダンスタイム♪みんなで楽しく国際交流の輪が広がりました。

劉青さんは、中国には5,000年の歴史があり、ロシア、カナダにつぐ世界三番目に面積の大きな国であり、56の民族がいて、衣服、言語、習慣、文化が違うこと



を説明。また、故宮博物館を全て見るのに一週間かかり、万里の長城は延長2万km。北京と地方の小学校に違い

があるが、いじめが生じないのは、心の中に閉じ込めない傾向によるとのこと。地震がないため上海は超高層ビルが多い、自転車や携帯充電器等のシェアが普及しているなど、近代化の様子も紹介された。

劉青さんのあたたかい人柄を通じて、よき理解へのステップとなりました。



時間の最後には児童たちから二人の講師に対し、日本食で好きな食べ物、好きな動物、徳島に来て良かったこと、出身地から日本への所要時間等、多くの質問がありました。

大変有意義な国際理解授業の豊かな実りを嬉しく思い、貴重な経験させていただきました。

◆英会話教室10月22日レポート 新見真理子

10月22日の鴨島英会話教室は、初級・中級合同で行われた。合同授業は久しぶりだったが、授業の最初にした Free Talk や単語の連想ゲームでクラスのムードがなごやかになり、和気あいあいとした雰囲気ですスタートした。

今週のトピックは「ART」。好きなARTは？もし、大金を手に入れたら手に入れたいARTは？自分にと



ってARTは大切かどうか。その理由は？最近いつ美術館に行ったか？等の質問をグループに分かれてお互いに尋ね合った。自分とARTとの関係を再認識する機会が得られ、生徒の皆さんの意外な特技も知ることができた。

最後には、リーダーの持っている絵を言葉だけで伝えて絵に描く「Picture Challenge」を行った。絵を忠実に伝えるためには、丁寧な説明が必要で様々な英語を駆使した。

メーガン先生の良く考えられた授業構成で、実り多い合同授業が終了した。

◆Living in Japan as a Foreigner_

The Coronavirus Edition Dexter Nagaji

My name is Dexter Nagaji and I arrived in Tokushima on January 16, 2020, about 1 month before the novel coronavirus began rapidly spreading in Japan. Fortunately, Tokushima, or Shikoku for that matter, is very much separated from the coronavirus hot spots in Japan (Tokyo, Osaka, etc.). However, that doesn't mean that we foreigners have not felt the impact. For me personally, coming to work and live in Japan has

been a dream of mine for a long time. When I finally landed this job I have currently, I was extremely happy and grateful for the opportunity. While I am still happy and grateful to be here, I can't help feeling a little trapped.

There are many places I want to visit in Japan such as Osaka, Kyoto, Hiroshima, and many more. But of course, those trips are not possible during this epidemic. It's nobody's fault and this is just how it has to be for now but I can't help but to feel a little bitter. I'm not sure when the next time I'll be able to go visit my family back in Hawaii. The island of Oahu is about the same size as Tokushima and there are about 5000 cases there. All of my family are on that tiny island and I worry about them all the time. In order to not make this problem any worse, I will not leave Tokushima until this is all over. Restricting travel and enforcing social-distancing is the most important thing!

◆国際理解講座の開催

細谷裕重

10月31日(土)に「吉野川市における『多文化共生』を考える」をテーマに国際理解講座を開催しました。今回の講座では、まず総務省が進める「多文化共生プラン」を説明し、そのあとで吉野川市における在留外国人の状況について説明させて頂きました。

みなさんは「多文化共生」という言葉を聞いてどのようなイメージを持たれるでしょうか？吉野川市にはすでに4百人を超える在留外国人が住んでいます。しかし、その多くは技能実習として企業内で働いており、一般市民との接する機会が少ないのが実情です。

講座に参加された方々にとって、あらためて身近に住む外国人に注目して頂くきっかけとなれば幸いです。

